

文化・伝統について学ぶ機会の一層の充実を求める意見書

グローバル化が進展する中で、世界で英語を公用語・準公用語とする人々の数は約 21 億人に達している。そのような背景のもとに、私達日本人が国境を越えて挑戦するためには、情報を瞬時に自在に入手し、理解し、意思を明確に表明できる「世界へアクセスする能力」「世界と対話できる能力」を備える必要があるとの考えから、高等学校におけるスーパーグローバルハイスクールの取り組みなど、英語教育の一層の充実が必要とされている。

しかしながら、言語はあくまでコミュニケーションのための手段であり道具である。円滑な関係を築く上で重要なことは、英語を活用できる能力とともに、他の国や地域の伝統、文化に敬意を払い、国際社会の一員としての意識を涵養することであり、それと同時に、みずからの国や地域の伝統、文化について理解を深め、尊重し、郷土や国を愛する心を育むことである。

よって、国におかれては、若い世代の「内向き志向」を克服し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し、活躍できる人材を育成するため、義務教育・高等学校課程等の段階において、日本の文化・伝統について深く学ぶ機会のより一層の充実が図られるよう求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

高知県議会議長 浜 田 英 宏

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
文部科学大臣 } 様